

「星新一公式サイト」& 星一著書「三十年後」 ご案内

星一先生に関連する図書「明治・父・アメリカ」、「人民は弱し 官吏は強し」をお読みになったことがある卒業生は大勢おられることと思います。これらの著者である星新一氏の公式サイトが公開されているのをご存知でしょうか？ その中のメニューのひとつ「寄せ書き」に、本学総務部課長・佐藤史朗氏のエピソードが2022年3月に掲載されました。そこには、星新一氏の本名である親一が星一先生のモットーである「親切第一」から名付けられたこと、1922年(大正11年)に星一先生の著書「親切第一」が発行されたこと等も記載されています。また、2019年9月には山本弘准教授の寄せ書きも掲載されていますので、あわせてご覧いただければと思います。



星新一・公式サイト
hoshishinichi.com

このサイトは、星新一氏のお嬢様、つまり星一先生のお孫様の星マリナ氏により運営されています。

星マリナ氏は、星一先生が1918年に考案したSF小説「三十年後」を、2015年に自費出版として復刊されました。大正7年に想像した30年後の空想科学未来物語で、星新一氏によって要約されています。そのため、「著者：星一、要約・解説：星新一、監修：星マリナ」の星家三代にわたる**チーム星**で発刊された貴重な図書となっています。

星薬科大学の生協で販売されていますので、大学ご訪問の折には是非手に取ってみてください。

「三十年後」あらすじ

政治家を引退し、無人島で30年過ごした後、大正37年の東京に戻ってきた91歳の嶋浦太郎。知り合いはなぜか皆若い時のまま…。科学の力、薬の力で世の中を良くしたいと考えた星一の夢の世界。懐かしく、待ち遠しい。もう一つの星ワールドへ、ようこそ！

(星新一公式サイトより許可を得て転載)



星薬科大学(生協)ブチショップ
(営業は概ね平日17時まで)
左隣は星薬科大学学長、牛島俊和先生の著書「論文
図表を読む作法」です。

なお、特集記事「没後25年星新一」が2022年12月4日の東京新聞・中日新聞のサンデー版世界と日本 大図解シリーズに掲載され、「生い立ち～デビュー前」では星一先生のお名前も登場いたします。東京新聞のバックナンバーが購入できますので併せてご案内させていただきます。

https://tokyo-np.hanbai.jp/products/list.php?category_id=195